

第1学年 英語活動案

1. 題材 くだもの “A banana please.”

2. 本活動設定の理由

○こんな児童だから

本学級の児童は、今までに5回の英語活動を経験してきている。初めてのことにに対する好奇心が旺盛で、積極的に活動できている。また、約3分の1の児童が習い事で英会話教室等に通っていることや、クラスにカナダ人の父親を持つ児童がいることもあり、英語を自然と受け入れられる雰囲気がある。しかし、英語活動の活動自体の回数が少ないため、なかなか身に付けるまでには至らず、「英語で伝えたい」という思いを表現できずもどかしさを感じている姿が見受けられる。

○こんなトピックで

英語の音として日本語に入ってきていて、児童にとって馴染みのある「果物」を取り上げる。既習である「色」と関連付けることで、自然に活動に取り組むことができると考える。また、“A Town”を完成させるための一環として、Fruits Shopを位置付け、トピックに対する意欲がつながっていくようにする。

○こんな「聞く活動」の工夫で

児童が、英語を使って自ら進んで話そうとする意欲をもつために、3つのステップを設定し、その中で下記のような活動の工夫を行っていく。

まず、**ステップ1の「聞いて知る活動」**として、手作り絵本“Colors make Fruits”を読み聞かせすることで、既習の色の名前や、知っている果物の名前を聞き取り、絵と発音を手がかりに、自然と本時のトピックと出会えるようにする。また絵本に仕掛けをしておくことで、クイズのように楽しんで推測しながら、しっかりと聞くことができるようにする。

次に、**ステップ2の「聞いて繰り返す活動」**として、果物の名前をいつものように Repeat し、全員で練習した後、2つのコースに分かれる。果物の名前に自信がある児童はALTの方(Rコース)へ、まだ自信のない児童はHRTの方(Yコース)へと、自分で選択できるようにする。ALTコースでは、フラッシュカードを使って速く答えたり、“Peach, apple, banana”のように3枚続けて Repeat したりしていくことを通して、さらに発音やリズムに慣れていくことができる。HRTコースでは、一つ一つの発音を確かめながら、再度繰り返すことで、全員が果物の名前に対して自信をもった状態で、ゲームに取り組めるようにする。ゲームとして、どんじゃんけんを取り入れることで、自然と単語を繰り返して言うことができるようにする。

最後に、**ステップ3の「聞いて使う活動」**として、Shopping Gameを取り入れる。お店屋さん役とお客さん役とを両方体験することで、お客さんの注文を聞いて果物を渡すことや、自分のほしい果物を伝えることができるようにする。Shopping Gameを通して、自分の欲しいものを伝える言い方の基本を知り、自分から伝えようとし、うまく伝わった喜びを味わえるようにする。

3. 目標と活動計画 (計2時間)

時	目 標	1 ト ピ ッ ク の 構 成		
1	○果物の名称に興味をもつ。 ○どんじゃんけんに意欲的に取り組む。	<ステップ1> 絵本“Colors make Fruits” 読み聞かせ	<ステップ2> コース別活動	<ステップ3> フルーツどんじゃ んけん
2 (本 時)	○ほしい果物を伝え、聞こうとする。 ○Shopping Game に意欲的に取り組む。	<ステップ1> 絵本読み 聞かせ	<ステップ2> コース別活動	<ステップ3> Shopping Game

4. 本時 平成17年9月26日(月) 5校時 A小学校1年

5. 本時授業仮説

児童は前時までに果物の名称を知り, どんじゃんけんを通してその言い方に慣れてきている。そこで本時の3つのステップに, 絵本の読み聞かせやコース別活動, Shopping Game をそれぞれ組み込めば, 児童は自分から進んで, ほしい果物を答えたり聞いたりすることができるようになるだろう。

6. 本時(2/2)のねらい

- 欲しい果物を英語で伝えようとしたり, 友達の欲しい果物を聞こうとしたりする。
- Shopping Game に意欲的に取り組む。

7. 準備

教師: 果物絵カード, 絵本, 1\$札入り財布, 果物ミニカード, 児童用名札, リズムボックス

8. 本時活動の展開

Procedure	活動内容と児童の主な発言	主な発言 (●HRT ○ALT)	支援と評価 (★)
Greeting (5min.)	1. はじめの挨拶をする。 Hello R. 2. 名前を呼ばれたら, 返事をする。(Roll Call) Here. Thank you.	●Let's start today's lesson. ○●Hello everyone. ●If you're called your name, please say "Here." and raise your hand.	・一人一人名前を呼んで挨拶をしていくことで, 英語活動に対する雰囲気を作っていく。
Review (5min.) STEP 1	3. 絵本 (Colors make Fruit) の読み聞かせを聞く。	●Do you remember this book? ○Please listen the story.	・前時に読んだ絵本を再度読むことで, 理解を深められるようにする。
Activity (5min.)	4. キーセンテンスを知る。 A banana, please. Here you are. Thank you. 5. 本時のめあてをつかむ。 ほしい くだものの いいかたに なれよう	(Model Skit) ●A banana, please. ○Here you are. ●Thank you. How much is it? ○It's one dollar. ●Today's aim is this.	・リズムボックスを用いて, 本キーセンテンスをリズムに乗って覚えられるようにする。 ・リズムや抑揚を体で覚えるために, 身振りを付けて練習できるようにする。
STEP 2 (10min.)	6. コースに分かれて, キーセンテンスに慣れる。	○Let's practice. Repeat after me, please. ●Please choose your course.	★ALT の発音や抑揚をよく聞き, まねしようとしている。 ・コース別活動を仕組むことにより, 全員が自信をもって話せるようにする。
STEP 3 (15min.)	7. Shopping Game をする。 A banana, please. Here you are. Thank you.	○Let's play Shopping Game! ●OK. Group1.2.3.4 are clerks of the fruits shop. Group5.6.7.8 are customers. ○Are you ready? Let's start.	・模型や財布等, より臨場感が出るような準備をしておく。 ★自分の欲しい果物を伝え, 相手の欲しい果物をしっかりと聞こうとしている。
Closing (5min.)	8. 活動を振り返り, Reflection Card を書く。 9. 次時の活動を知る。 10. 終わりの挨拶をする。 See you, R.	○Did you enjoy today's lesson? ●Please write your reflection card. ●That's all for today. ○Good job. See you next time.	・Reflection Card を書き終わった児童から, ALT や HRT と簡単な会話をし, 本時の復習ができるようにする。